



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2016年1月20日 No.148

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

この銅像、どなたですか？ ～ 防府市編 ① ～

山口県内には多くの銅像が建っています。歴史上有名な人物や地域に貢献した人物ですが、「この人だれ？」って思いませんか。



わたしは、防府市の防府天満宮
どなたですか？ にいます。



この銅像の人物は、「野村望東尼」です。現在の福岡県で生まれた幕末の女流歌人で、お坊さんです。高杉晋作など、明治維新に関わった人物を助けたり、話し合いの場所を貸したりしたことでも有名です。高杉の最期を看取り、高杉の辞世の句「おもしろき こともなき世を おもしろく」の続き「すみなすものは 心なりけり」を作ったという説もあります。防府市の三田尻で生涯を終えました。お墓は桑山墓地にあります。



わたしたちは、防府市の
防府天満宮にいます。

どなたですか？



この銅像の人物は、「楢取素彦・美和子（文）夫婦」です。楢取素彦は、幕末の長州藩士であり、明治維新後は群馬県令を務めた人物です。吉田松陰と交流が深く、松下村塾で指導をしたこともあります。群馬県令になると、製糸業の発展や教育振興に努め「名県令」とよばれました。（県令は現在の県知事）

美和子（文）は、吉田松陰の妹です。幕末の志士「久坂玄瑞」の妻となりましたが、すぐに死別しました。楢取が県令をしていたころに二人は再婚しました。

歳をとってから防府市に移り住んだ後、国会議員の仕事や明治天皇の皇女貞宮の養育係なども務めました。二人のお墓は、防府市の大楽寺にあります。防府天満宮境内には、貞宮の遺品を納めた遥拝所があり、二人の銅像の眼差しが向けられています。